

中小企業動向調査

この調査は富山県内企業407社を対象に実施し、279社より回答があり、その結果をまとめたものである。

企業の調査資料として、平成25年4月～6月の実績、平成25年7月～9月の見込み、平成25年10月～12月の先行き見通しを集約した概要である。なお、季節調整は行っていない。

調査時期：平成25年6月下旬

	調査対象企業数	有効回答企業数	有効回答率
製 造 業	180	127	70.6%
非 製 造 業	227	152	67.0%
計	407	279	68.6%

日銀が7月3日に公表した、北陸の金融経済月報（2013年7月）によると、「北陸の景気は、持ち直している。最終需要をみると、個人消費は持ち直しの動きがみられる。また、設備投資は底堅く推移しているほか、住宅投資は持ち直しており、公共投資は増加傾向を維持している。

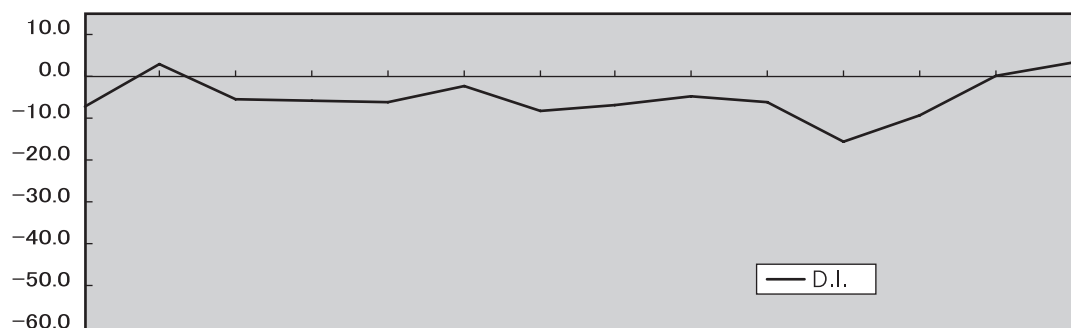
当地製造業の生産は、海外経済減速の影響が徐々に後退する中で、全体として増加している。業種別にみると、電気機械（含む電子部品・デバイス）が増加しているほか薬品を中心とする化学は高水準の生産を維持している。一般機械や金属製品、非鉄金属は持ち直しの動きがみられる。鉄鋼、繊維は横ばい圏内の動きとなっている。

先行きについては、金融緩和や各種経済対策の効果もあって国内需要が持ち直していくとみられるほか、海外経済の成長率が穏やかながらも次第に高まっていくことなどを背景に、穏やかな回復経路に複していくとみられる。

I. 企業概況

企業概況の推移……（全産業）

期別 種別	（%）													
	22 年		23 年				24 年				25 年			
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
良 い	16.2	20.8	17.5	19.4	15.4	17.9	15.1	14.3	14.7	15.7	10.4	14.2	10.7	13.3
普 通	60.5	61.1	59.5	55.4	63.2	61.8	61.6	64.6	65.8	62.5	63.7	62.2	78.6	76.7
悪 い	23.3	18.1	23.0	25.2	21.4	20.3	23.3	21.1	19.5	21.8	25.9	23.6	10.7	10.0
D . I .	-7.1	2.7	-5.5	-5.8	-6.0	-2.4	-8.2	-6.8	-4.8	-6.1	-15.5	-9.4	0.0	3.3

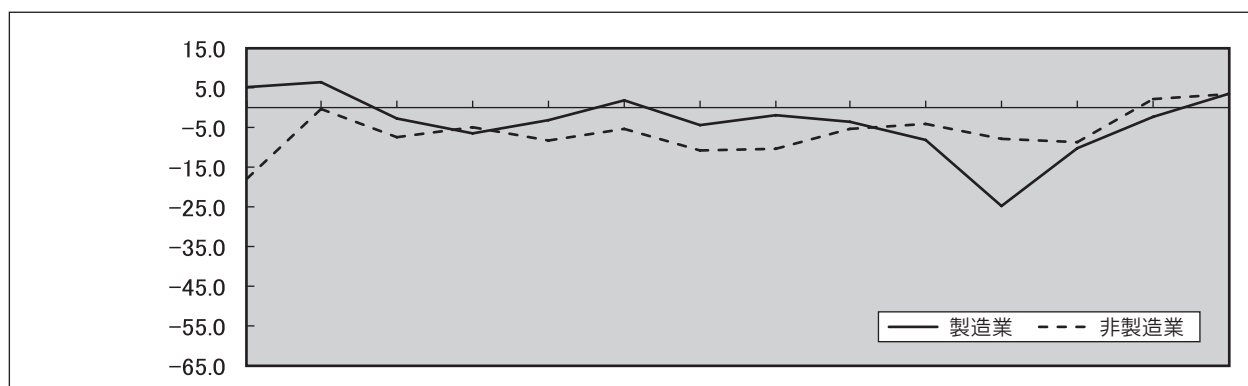


企業概況の推移…… (うち製造業のみ)

期別 種別		22 年		23 年				24 年				25 年			
		7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
良	い	24.3	27.0	20.3	20.8	17.1	21.6	19.4	16.2	15.3	13.6	6.2	16.8	8.9	13.8
普	通	56.4	52.5	56.5	51.5	62.5	58.2	56.6	65.4	65.6	64.4	62.8	56.0	79.7	75.6
悪	い	19.3	20.6	23.2	27.7	20.4	20.1	24.0	18.5	19.1	22.0	31.0	27.2	11.4	10.6
D . I .		5.0	6.4	-2.9	-6.9	-3.3	1.5	-4.7	-2.3	-3.8	-8.5	-24.8	-10.4	-2.4	3.3

企業概況の推移…… (うち非製造業のみ)

期別 種別		22 年		23 年				24 年				25 年			
		7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
良	い	9.0	15.3	15.0	18.2	13.9	15.0	11.7	12.8	14.3	17.5	13.7	12.0	12.2	12.9
普	通	64.1	68.8	62.1	58.7	63.9	64.7	65.6	64.0	65.8	60.8	64.4	67.3	77.7	77.6
悪	い	26.9	15.9	22.9	23.1	22.3	20.4	22.7	23.2	19.9	21.7	21.9	20.7	10.1	9.5
D . I .		-17.9	-0.6	-7.8	-5.0	-8.4	-5.4	-11.0	-10.4	-5.6	-4.2	-8.2	-8.7	2.0	3.4



- (1) こうした北陸の状況の中で富山県内の中小企業の業況を全産業で見ると、業況判断指数D.I.「良い-悪い」の25年4～6月期実績は▲9.4と前期比6.1ポイント改善した。先行きについて、25年7～9月期のD.I.は0.0、25年10～12月期のD.I.は3.3と改善予想となっている。前期は、大幅なマイナスポイントとなり業況は悪化回答であったが、今期より改善となり、先行きも改善予想となっている。
- (2) 業況判断指数D.I.の25年4～6月期を製造業と非製造業に分けてみると、製造業は前期より14.4ポイント改善した。非製造業は前期より0.5ポイント悪化した。製造業は改善はしたが、まだマイナスのポイントとなっている。先行きについては、製造業、非製造業とも改善予想となっている。

II. 売上高状況

売上高状況

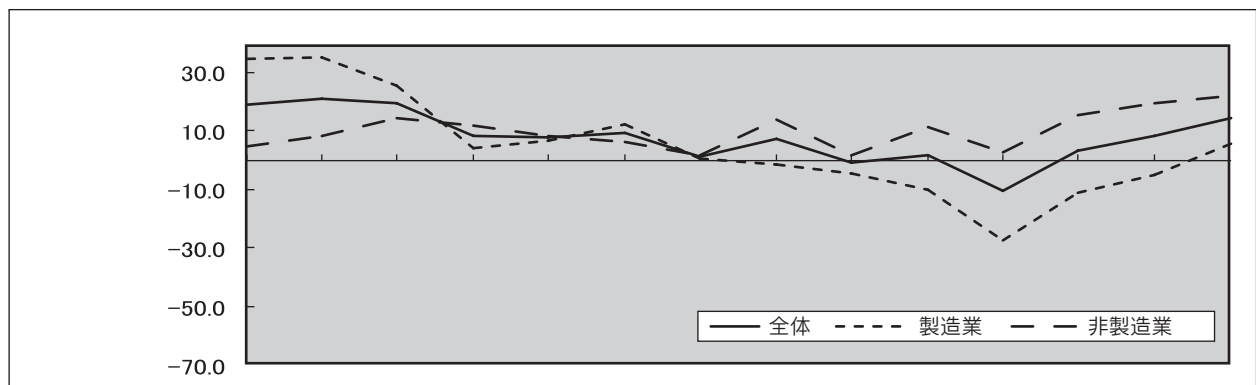
		(%)												見込	予測
種別	期別	22年		23年				24年				25年			
		7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
増加		43.3	32.8	39.4	35.8	33.9	36.5	30.0	33.5	26.3	28.4	22.3	30.6	27.1	28.3
横ばい		30.2	35.5	40.8	36.6	39.8	35.9	41.4	40.3	46.4	44.7	45.2	42.1	54.2	58.0
減少		25.5	21.7	19.9	27.7	26.3	27.5	28.6	26.3	27.3	26.9	32.6	27.4	18.8	13.7
D.I.		18.8	21.1	19.5	8.0	7.5	9.1	1.3	7.2	-1.0	1.5	-10.3	3.2	8.3	14.5

売上高状況（うち製造業のみ）

		(%)												見込	予測
種別	期別	22年		23年				24年				25年			
		7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
増加		54.2	54.2	44.6	34.0	33.6	36.2	27.9	28.0	24.4	24.5	12.3	22.8	20.7	22.1
横ばい		26.1	26.8	36.0	35.9	39.5	39.9	45.0	42.6	46.6	40.7	48.2	43.3	54.0	61.4
減少		19.7	19.0	19.4	30.1	27.0	23.9	27.1	29.4	29.0	34.8	39.5	33.8	25.4	16.6
D.I.		34.5	35.2	25.2	3.9	6.6	12.3	0.8	-1.6	-4.6	-10.2	-27.2	-11.0	-4.8	5.5

売上高状況（うち非製造業のみ）

		(%)												見込	予測
種別	期別	22年		23年				24年				25年			
		7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
増加		35.3	32.5	34.6	37.2	34.1	36.8	31.5	37.8	27.8	31.5	30.0	37.1	32.5	33.5
横ばい		34.0	43.3	45.1	37.2	40.1	32.7	38.7	38.4	46.3	47.9	42.9	41.1	54.3	55.0
減少		30.8	24.1	20.3	25.6	25.8	30.4	29.8	23.8	25.9	20.6	27.2	21.8	13.2	11.4
D.I.		4.5	8.3	14.4	11.6	8.4	6.4	1.8	14.0	1.9	11.0	2.7	15.2	19.2	22.1



- (1) 売上高は、前年同期比較での増減について回答を受けている項目である。今回調査では、D.I.は3.2となり、前期より13.5ポイント改善の回答となった。先行きについては、25年10~12月期は改善予想となっている。
- (2) 売上高状況D.I.を製造業と非製造業で分けると、製造業は前期比16.2ポイント改善、非製造業は12.5ポイント改善となっている。製造業、非製造業とも前々期の指数にもどっており、先行きは改善予想となっている。先行きは改善予想ではあるが、製造業は低いポイントでの推移となっている。

Ⅲ. 生産高・稼働率状況

生産高状況（製造業のみ）

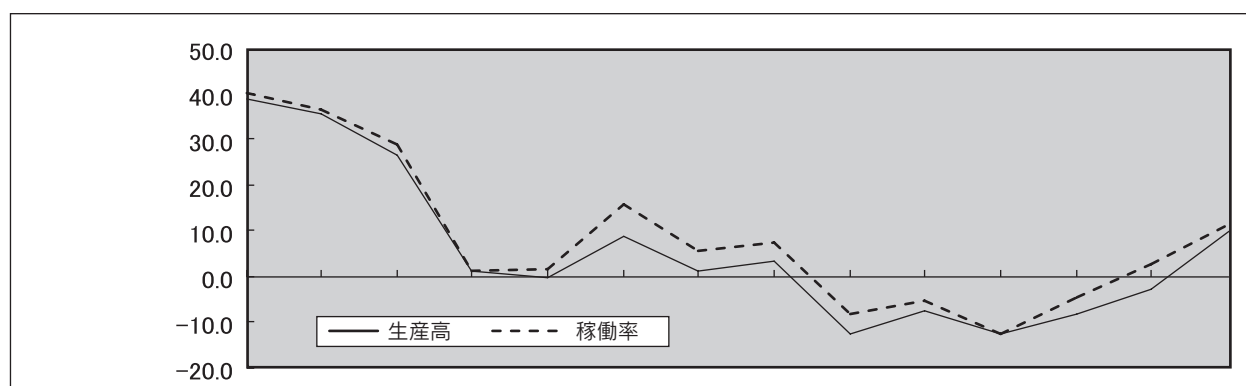
(%) 見込 予測

期別 種別	22 年		23 年				24 年				25 年			
	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月
20%以上増加	19.9	20.0	16.9	11.9	6.7	6.5	6.1	5.6	4.7	5.1	0.9	5.5	3.2	2.4
20%未満増加	35.5	33.3	28.7	19.8	21.5	28.1	22.1	25.0	17.2	20.5	19.6	17.2	17.5	22.2
横ばい状況	28.4	28.9	35.3	37.6	43.0	39.6	44.3	41.9	43.8	41.0	46.4	46.1	55.6	60.3
20%未満減少	15.6	15.6	14.7	21.8	24.8	22.3	25.2	22.6	28.1	29.1	24.1	21.9	21.4	12.7
20%以上減少	0.7	2.2	4.4	8.9	4.0	3.6	2.3	4.8	6.3	4.3	8.9	9.4	2.4	2.4
D . I .	39.0	35.6	26.5	1.0	-0.7	8.6	0.8	3.2	-12.5	-7.7	-12.5	-8.6	-3.2	9.5

稼働率（製造業のみ）

(%) 見込 予測

期別 種別	22 年		23 年				24 年				25 年			
	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月
上昇	22.3	19.4	19.1	12.1	5.6	7.4	6.4	4.9	5.7	6.1	0.9	4.7	3.2	1.6
やや上昇	31.7	34.3	25.0	19.2	20.1	29.6	21.6	25.2	13.9	10.2	17.9	16.5	18.3	24.0
横ばい	32.4	29.1	40.4	38.4	50.0	41.5	49.6	47.2	52.5	42.1	50.0	52.8	59.5	60.0
やや下降	11.5	15.7	11.8	20.2	19.4	18.5	19.2	19.5	22.1	27.2	23.2	15.7	15.1	11.2
下降	2.2	1.5	3.7	10.1	4.9	3.0	3.2	3.3	5.7	4.4	8.0	10.2	4.0	3.2
D . I .	40.3	36.6	28.7	1.0	1.4	15.6	5.6	7.3	-8.2	-5.3	-12.5	-4.7	2.4	11.2

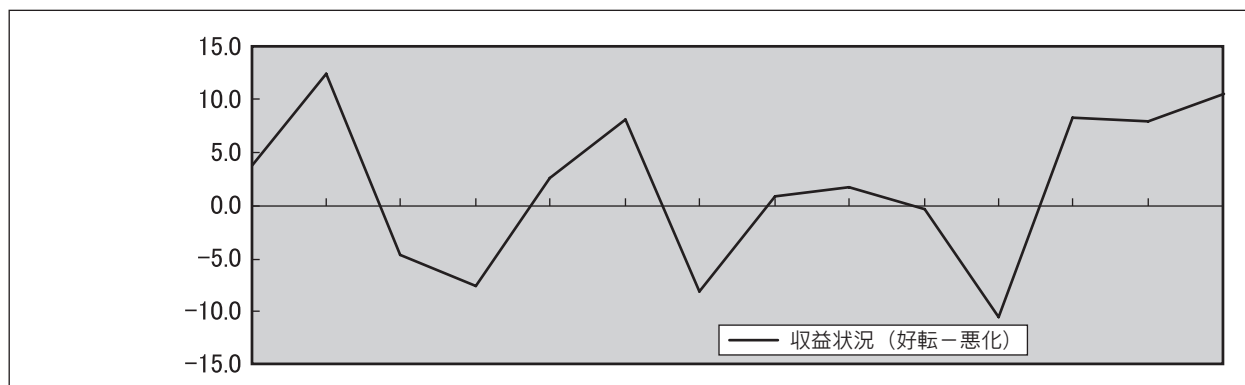


- (1) 生産高・稼働率ともに売上高と同様、前年同期比での増減について回答を受けている項目である。製造業の生産高状況D.I.は▲8.6となり、前期比3.9ポイント改善した。先行きについては、改善予想となっている。10～12月期にはプラスポイントの9.5を予想している。
- (2) 稼働率についても、売上高、生産高同様に今期は改善となっている。しかし、まだマイナスポイントであり、下降とするポイント回答が高い。先行きについては、改善予想となっている。

IV. 収益状況

収益状況（好転－悪化）

期別 種別	22年		23年				24年				25年			
	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月
好転	20.9	27.3	20.2	19.8	24.8	26.4	17.0	19.5	19.7	20.8	15.8	25.2	16.6	18.1
横ばい	61.8	57.9	54.8	52.7	53.0	55.3	57.7	61.6	62.2	58.1	57.9	57.9	74.7	74.3
悪化	17.2	14.8	25.0	27.5	22.3	18.3	25.3	18.9	18.0	21.1	26.3	16.9	8.7	7.6
D.I.	3.7	12.5	-4.8	-7.7	2.5	8.0	-8.3	0.7	1.7	-0.4	-10.5	8.3	7.9	10.5



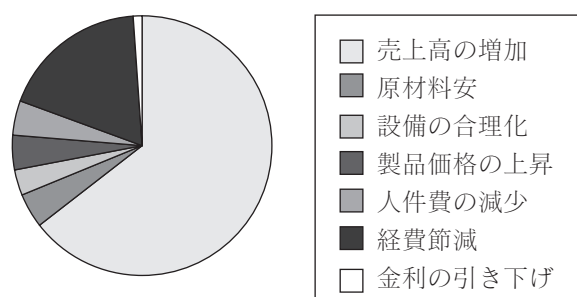
好転理由

期別 種別	22年		23年				24年				25年			
	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月
売上高の増加	64.4	73.6	69.2	60.0	76.0	73.5	66.2	67.6	64.4	70.8	61.8	64.5	72.9	78.0
原材料安	1.1	1.8	1.3	5.0	3.0	4.1	1.5	9.9	4.1	4.6	1.8	4.3	0.0	1.7
設備の合理化	5.6	0.9	5.1	6.7	2.0	1.0	0.0	0.0	1.4	3.1	1.8	3.2	3.4	0.0
製品価格の上昇	2.2	3.6	5.1	6.7	2.0	2.0	2.9	2.8	2.7	3.1	5.5	4.3	6.8	5.1
人件費の減少	7.8	4.5	2.6	5.0	3.0	3.1	4.4	2.8	6.8	0.0	7.3	4.3	3.4	1.7
経費節減	17.8	15.5	16.7	16.7	14.0	16.3	22.1	16.9	19.2	16.9	18.2	18.3	13.6	13.6
金利の引き下げ	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	1.4	1.5	3.6	1.1	0.0	0.0

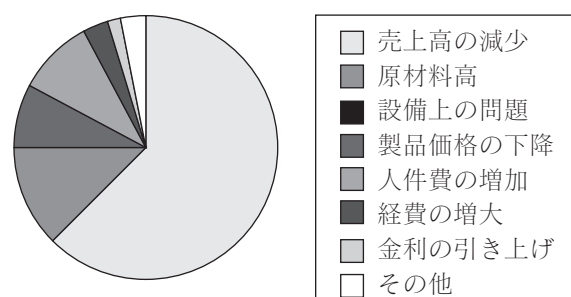
悪化理由

期別 種別	22年		23年				24年				25年			
	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月
売上高の減少	56.4	65.7	55.4	53.7	56.1	50.0	55.6	59.2	56.8	51.3	66.3	62.5	54.3	46.7
原材料高	7.7	8.6	13.4	14.7	11.2	18.3	14.8	17.1	13.5	10.3	10.8	12.5	20.0	30.0
設備上の問題	1.3	0.0	3.6	1.1	2.0	1.2	0.9	0.0	1.4	3.8	1.2	0.0	2.9	0.0
製品価格の下降	16.7	14.3	8.0	10.5	9.2	11.0	8.3	6.6	14.9	11.5	4.8	7.8	8.6	10.0
経費の増大	6.4	1.4	7.1	6.3	12.2	8.5	11.1	5.3	9.5	12.8	9.6	9.4	11.4	3.3
人件費の増加	6.4	7.1	4.5	6.3	5.1	4.9	2.8	6.6	2.7	2.6	2.4	3.1	0.0	3.3
金利の引き上げ	0.0	0.0	2.7	1.1	1.0	0.0	0.9	0.0	1.4	0.0	0.0	1.6	2.9	3.3
その他	5.1	2.9	5.4	6.3	3.1	6.1	5.6	5.3	0.0	7.7	4.8	3.1	0.0	3.3

好転理由



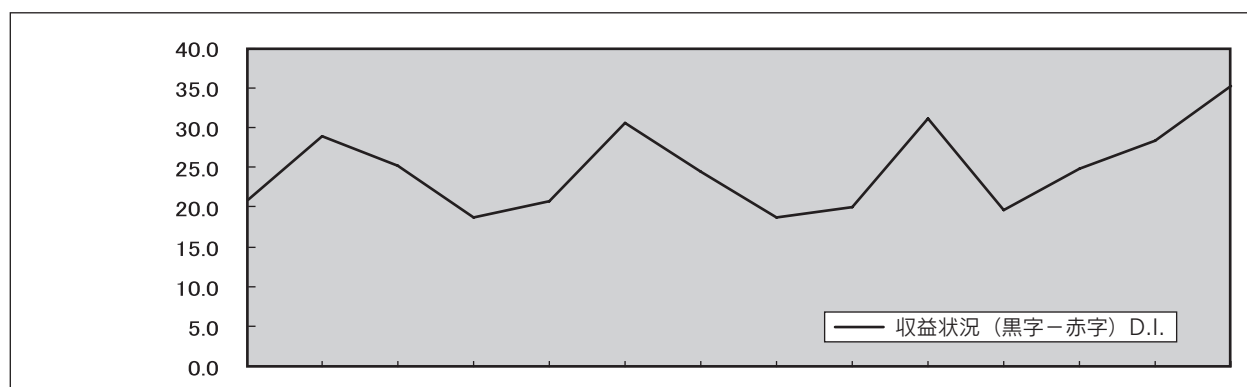
悪化理由



- (1) 収益状況「好転－悪化」D.I.は、前期比18.8ポイント改善し、8.3となった。収益は、好転との回答が増加となった。先行きについても改善予想であり、好転していくとみている。
- (2) 今期収益が好転した理由は、「売上高の増加」とするポイントが最も高い。先行きについても、「売上高の増加」ポイントは増加予想であり、売上は増加していくとみている。
- (3) 収益が悪化した理由では、「売上高の減少」とするポイントが最も高いが、「原材料高」とするポイントも増加している。先行きについては、30%が「原材料高」を悪化要因としてあげている。

収益状況（黒字－償却後赤字）

種別	22年		23年				24年				25年			
	期別		1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～
	7～	10～	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月
黒字	41.7	43.2	43.6	40.8	43.4	47.4	44.3	41.0	39.1	46.7	39.0	44.3	41.8	45.7
収支トントン	37.6	42.5	38.1	37.2	34.2	35.9	36.0	36.9	41.9	37.7	41.7	36.3	44.8	43.9
償却後赤字	20.7	14.3	18.3	22.0	22.5	16.8	19.7	22.1	19.0	15.6	19.3	19.4	13.4	10.4
D.I.	21.0	28.9	25.3	18.8	20.9	30.6	24.6	19.0	20.1	31.1	19.7	24.9	28.4	35.3



- (4) 収益状況「黒字－償却後赤字」D.I.は24.9となり、前期比5.2ポイント改善となった。黒字とするポイントが増加してきている。先行きについてD.I.は25年10～12月は35.3となっており、黒字へ改善予想である。売上増加により収益の改善が期待される。

V. 製品在庫水準

製品在庫水準

(%) 見込 予測

期別 種別	22 年		23 年				24 年				25 年			
	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月
不足	4.9	6.2	4.6	7.1	4.5	1.3	3.8	3.9	2.5	2.9	0.9	3.6	2.7	1.8
適正	87.8	84.8	87.1	80.2	87.1	90.4	87.4	89.3	91.5	92.3	91.5	88.8	92.7	94.1
過剰	7.3	9.1	8.3	12.6	8.3	8.3	8.8	6.9	5.9	4.8	7.5	7.6	4.5	4.1
D . I .	-2.4	-2.9	-3.8	-5.5	-3.8	-7.1	-5.0	-3.0	-3.4	-1.9	-6.6	-4.0	-1.8	-2.3

製品在庫水準（うち製造業のみ）

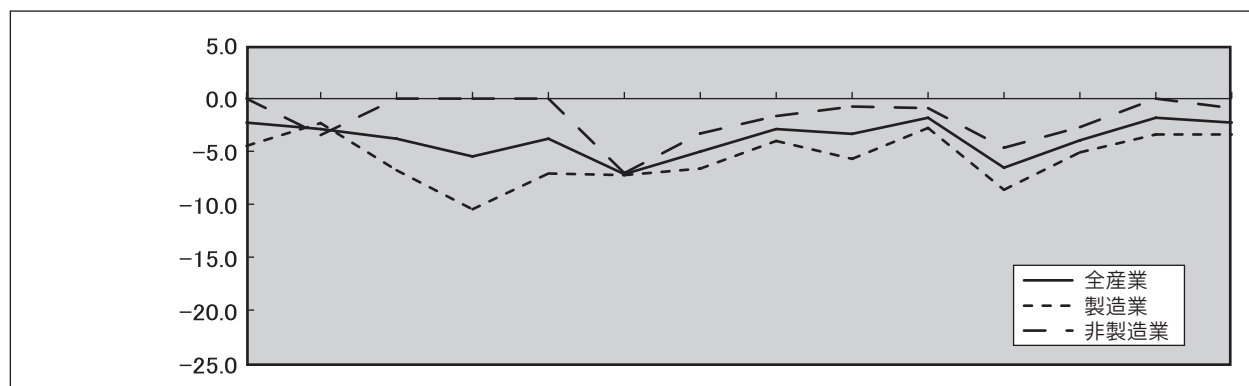
(%) 見込 予測

期別 種別	22 年		23 年				24 年				25 年			
	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月
不足	5.2	7.8	4.5	6.3	4.3	1.6	4.1	2.5	1.6	2.8	1.9	5.1	3.4	1.7
適正	85.1	82.2	84.1	77.1	84.4	89.6	85.1	91.0	91.0	91.7	87.7	84.7	89.7	93.0
過剰	9.7	10.1	11.4	16.7	11.3	8.8	10.7	6.6	7.4	5.5	10.4	10.2	6.9	5.2
D . I .	-4.5	-2.3	-6.8	-10.4	-7.1	-7.2	-6.6	-4.1	-5.7	-2.8	-8.5	-5.1	-3.4	-3.5

製品在庫水準（うち非製造業のみ）

(%) 見込 予測

期別 種別	22 年		23 年				24 年				25 年			
	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月
不足	4.5	4.4	4.6	8.1	4.9	0.9	3.4	5.4	3.5	3.0	0.0	1.9	1.9	1.9
適正	91.0	87.7	90.7	83.7	90.2	91.3	89.7	87.4	92.1	93.0	95.3	93.4	96.2	95.2
過剰	4.5	7.9	4.6	8.1	4.9	7.8	6.8	7.2	4.4	4.0	4.7	4.7	1.9	2.9
D . I .	0.0	-3.5	0.0	0.0	0.0	-7.0	-3.4	-1.8	-0.9	-1.0	-4.7	-2.8	0.0	-1.0



- (1) 全産業の製品在庫水準「不足-過剰」D.I.は、25年4~6月期は▲4.0となり、前期比1.6ポイント改善となったが、まだ、在庫過剰状況である。先行きについても、25年10~12月期は▲2.3であり、在庫過剰が続く予想である。
- (2) 業種別では、製造業のD.I.▲5.1となり、前期比3.4ポイント改善となった。非製造業も前期より、1.9ポイント改善となるが、マイナスポイントであり、過剰の状況。先行きについては、製造業、非製造業とも、マイナスポイントであり、過剰予想である。

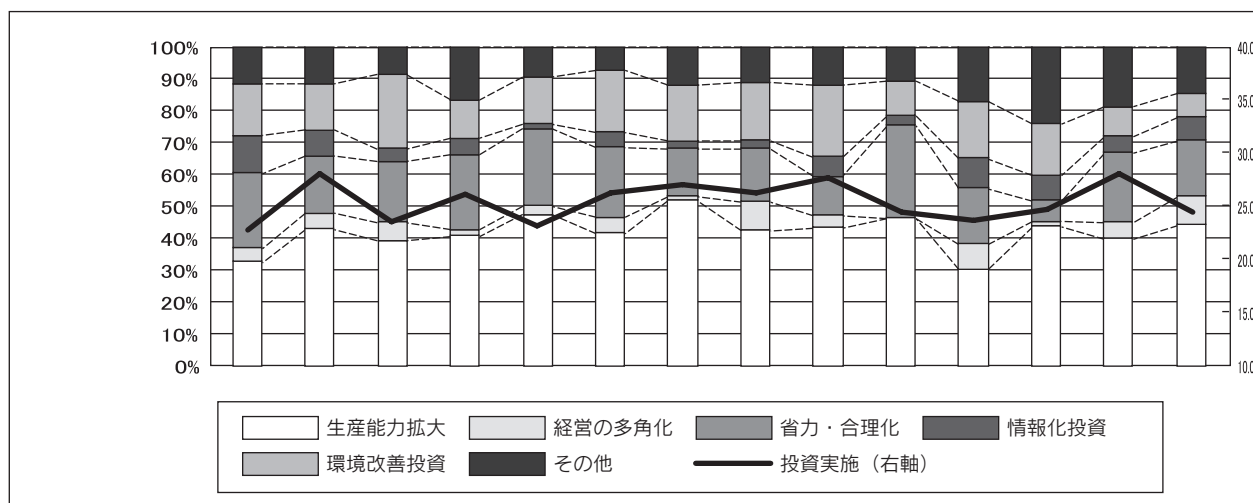
VI. 設備投資動向

設備投資の有無

期別 種別	(%)														見込	予測
	22年		23年				24年				25年					
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月		
投資実施	22.8	28.1	23.6	26.1	23.2	26.3	27.0	26.2	27.6	24.4	23.7	24.7	28.1	24.5		
投資せず	77.2	71.9	76.4	73.9	76.8	73.7	73.0	73.8	72.4	75.6	76.3	75.3	71.9	75.5		

設備投資の目的 (実施先について)

	(%)													
生産能力拡大	32.4	42.9	39.1	40.7	47.3	41.5	51.9	42.3	43.2	46.2	30.2	39.1	39.7	44.1
経営の多角化	4.4	4.8	5.8	1.7	2.7	4.9	1.2	9.0	3.7	0.0	7.9	1.4	5.1	8.8
省力・合理化	23.5	17.9	18.8	23.7	24.3	22.0	14.8	16.7	12.3	29.2	17.5	5.9	21.8	17.6
情報化投資	11.8	8.3	4.3	5.1	1.4	4.9	2.5	2.6	6.2	3.1	9.5	7.2	5.1	7.4
環境改善投資	16.2	14.3	23.2	11.9	14.9	19.5	17.3	17.9	22.2	10.8	17.5	14.5	9.0	7.4
その他	11.8	11.9	8.7	16.9	9.5	7.3	12.3	11.5	12.3	10.8	17.5	21.7	19.2	14.7



(1) 今回調査では、設備投資を実施した企業は全産業の24.7%と、前期比1.0ポイント増加した。先行きについて、7~9月では28.1%、10~12月では24.5%の企業が設備見込となっている。実施の目的別では、前期に比べ「省力・合理化」とするポイントが減少し、「生産能力拡大」とするポイントが増加している。

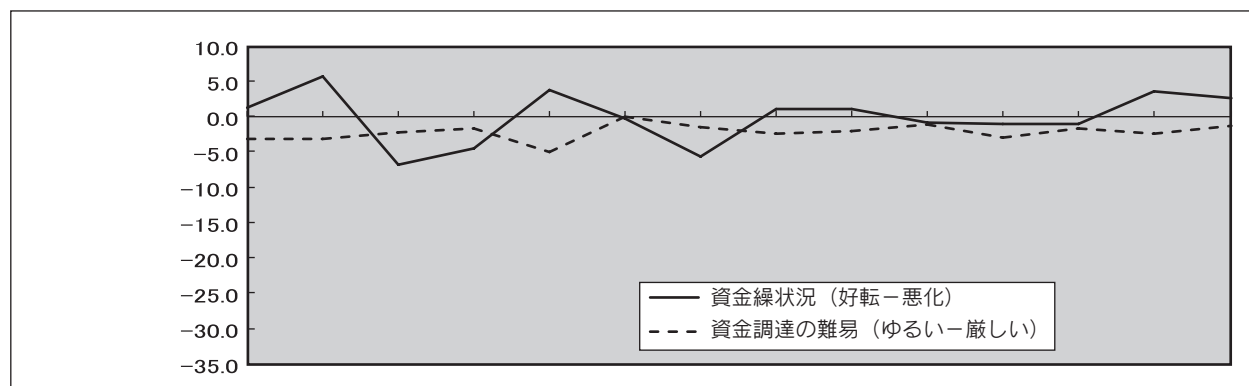
(2) 業種別の、製造業では「電子部品製造」「アルミ製品製造」「プラスチック」「金属製品製造」「医薬品製造」の順で設備投資実施に対するポイントが高い。非製造業では、「宿泊業」「運送業」「医療福祉」のポイントが高く、設備投資を行っている。先行きについては、製造業では「電子部品製造」、非製造業は「自動車販売」が設備実施予定のポイントが高い。

VII. 資金繰り状況

資金繰り状況（好転－悪化）

(%) 見込 予測

期別 種別	22 年		23 年				24 年				25 年			
	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月
好 転	9.8	13.7	5.5	11.5	10.0	9.9	7.0	11.8	10.9	9.5	8.6	10.1	9.0	7.2
変わらず	81.8	78.3	82.2	72.6	83.8	79.8	80.3	77.4	79.3	80.3	81.6	78.8	85.6	88.1
悪 化	8.4	8.0	12.3	15.9	6.2	10.3	12.7	10.8	9.9	10.2	9.8	11.2	5.4	4.7
D . I .	1.3	5.7	-6.8	-4.4	3.7	-0.3	-5.7	1.0	1.0	-0.8	-1.1	-1.1	3.6	2.5



資金調達の難易（ゆるい－厳しい）

(%) 見込 予測

期別 種別	22 年		23 年				24 年				25 年			
	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月
ゆるい	9.6	9.9	12.1	11.8	10.1	12.6	12.5	12.3	10.8	11.3	11.7	11.4	10.1	10.2
厳しくない	77.3	76.9	73.4	74.7	74.8	74.8	73.3	73.0	76.3	76.3	73.4	75.3	77.2	78.1
厳 しい	13.1	13.3	14.5	13.6	15.1	12.6	14.2	14.7	12.9	12.5	14.8	13.3	12.7	11.7
D . I .	-3.4	-3.4	-2.4	-1.8	-5.0	0.0	-1.7	-2.5	-2.1	-1.2	-3.1	-1.8	-2.6	-1.5

(1) 資金繰り状況D.I.「好転－悪化」実績は、▲1.1と前期比0.3ポイント悪化となった。

資金繰り状況は、前期より悪化とするポイントが高い状況となっている。4～6月期も、悪化とするポイントが高く、なっているが、7～9月期は好転するとのポイントが高くなり、改善の予想となっている。

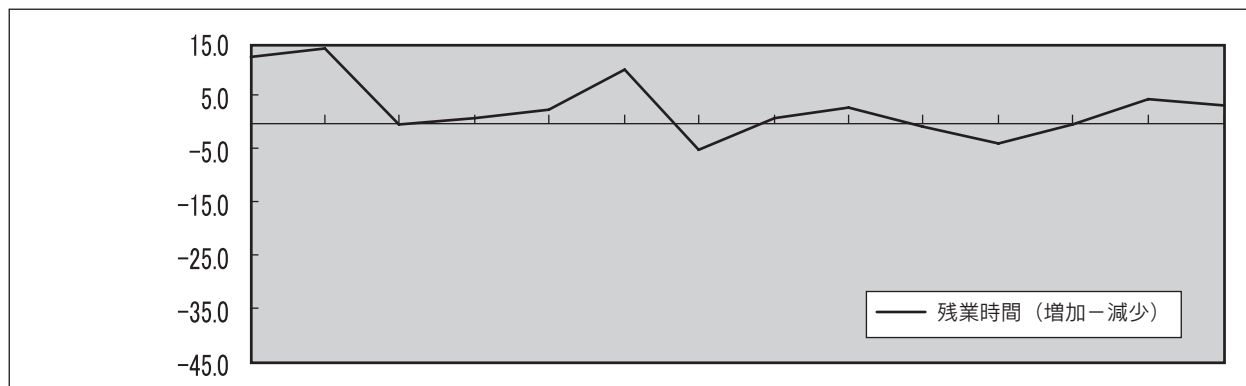
(2) 資金調達の難易D.I.「ゆるい－厳しい」では、▲3.1となり、前期より1.9ポイント悪化した。先行きについても、25年4～6月期は▲3.5、7～9月期は▲3.1と厳しいとの予想である。

厳しいとのポイントが高い主な業種は、製造業では「繊維」が最も高く、非製造業では「不動産業」となっている。

Ⅷ. 労務事情

残業時間

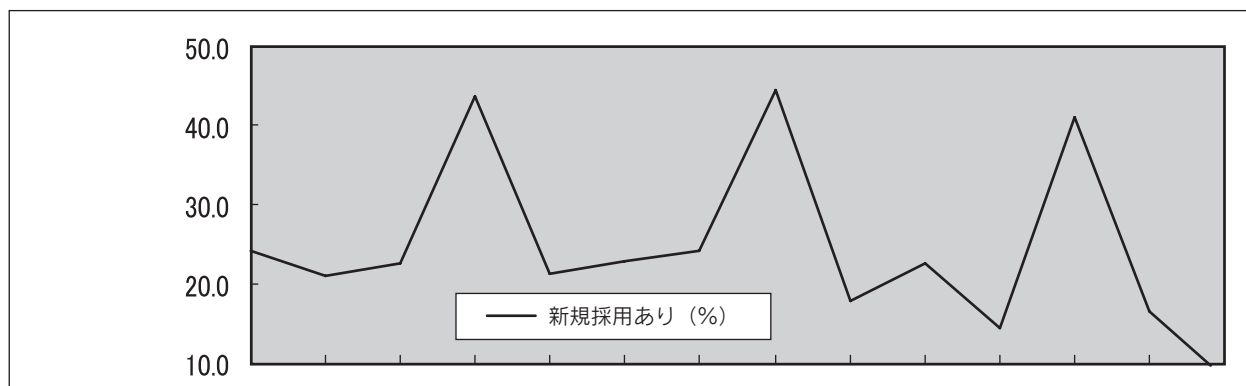
		(%)												見込	予測	
期別 種別	22年		23年				24年				25年					
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月		
増加	22.4	24.6	17.4	20.0	16.9	20.1	14.8	12.7	13.3	12.7	12.0	13.3	14.1	9.5		
横ばい	67.2	64.8	64.9	60.5	68.5	69.7	65.5	75.4	76.0	73.7	71.8	73.0	76.1	84.2		
減少	10.3	10.6	17.7	19.5	14.6	10.2	19.7	11.9	10.6	13.6	16.2	13.7	9.8	6.3		
D.I.	12.1	14.1	-0.4	0.5	2.4	9.9	-4.9	0.8	2.7	-0.8	-4.1	-0.4	4.3	3.2		



- (1) 残業時間D.I.は25年4~6月期▲0.4となり、前期比3.7ポイント増加した。残業時間は、増加してきている。先行きについても、7~9月のD.I.4.3であり、10~12月は3.2となり、増加すると予想している。

新規採用実績(採用あり：%) ※常用・臨時合算

		(%)												見込	予測	
期別 種別	22年		23年				24年				25年					
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月		
全産業	24.1	20.9	22.6	43.7	21.3	22.9	24.0	44.6	17.7	22.6	14.3	40.9	16.5	7.9		
(うち製造業)	31.9	22.5	25.9	42.2	17.6	18.6	20.0	48.9	17.6	16.1	13.6	40.2	14.2	4.7		
(うち非製造業)	17.0	19.5	19.6	45.0	24.6	26.5	27.1	41.3	17.8	27.9	14.9	41.4	18.5	10.6		

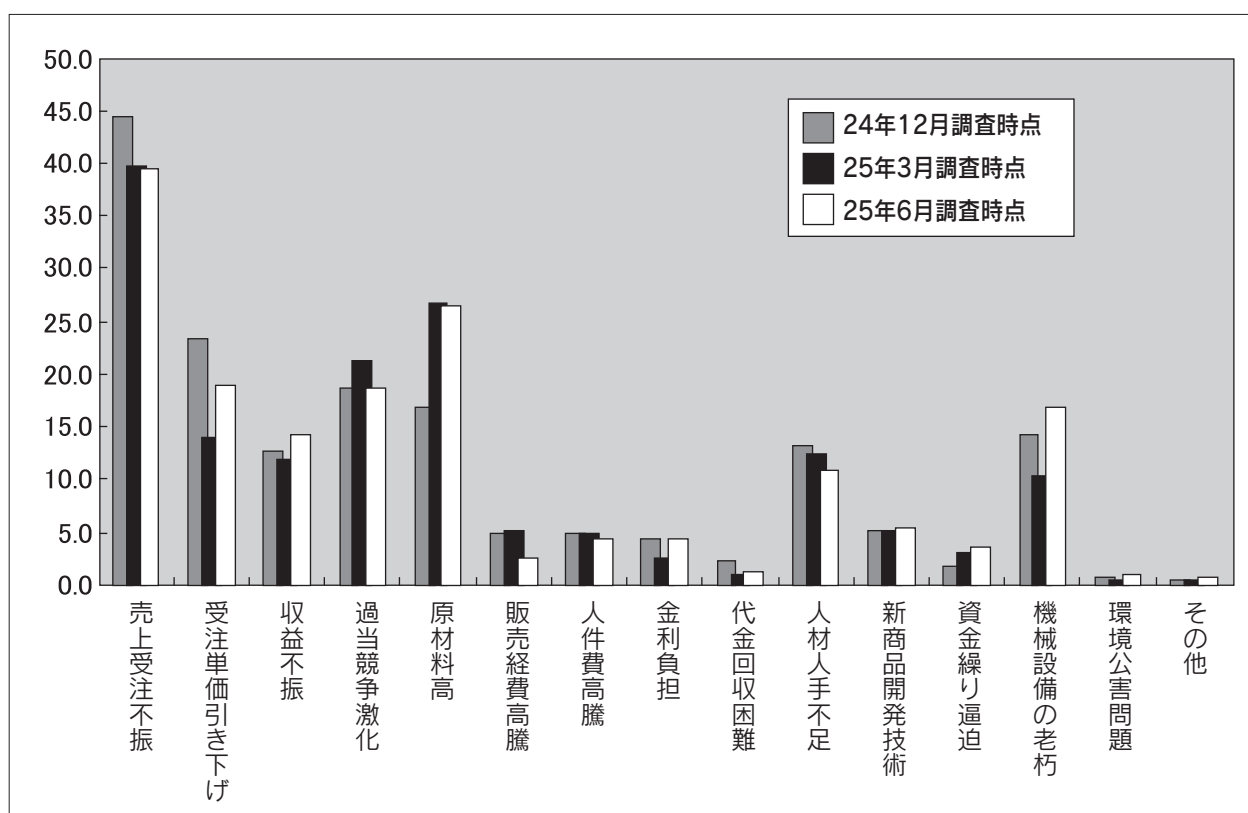


- (2) 新規採用集計は、常用雇用・臨時雇用合算で集計している。集計を見ると、全産業の40.9%が新規採用を行った。前年同期に比べ3.7ポイント減少となった。先行きについては、例年どおり減少していく予想となっている。

IX. 当面の経営上の問題点

(%：複数回答あり)

	24年12月 (前年同期)	25年3月 (前回)	25年6月 (今回)	前回比増減		
				(うち製造業)	(うち非製造業)	
売上受注不振	44.4	39.8	39.4	(46.5)	(33.6)	-0.4
受注単価引き下げ	23.3	13.9	19.0	(26.8)	(12.5)	5.1
収益不振	12.8	12.0	14.3	(13.4)	(15.1)	2.3
過当競争激化	18.8	21.4	18.6	(9.4)	(26.3)	-2.8
原材料高	16.9	26.7	26.5	(27.6)	(25.7)	-0.2
販売経費高騰	4.9	5.3	2.5	(0.8)	(3.9)	-2.8
人件費高騰	4.9	4.9	4.3	(0.8)	(7.2)	-0.6
金利負担	4.5	2.6	4.3	(3.1)	(5.3)	1.7
代金回収困難	2.3	1.1	1.4	(1.6)	(1.3)	0.3
人材人手不足	13.2	12.4	10.8	(4.7)	(15.8)	-1.6
新商品開発技術	5.3	5.3	5.4	(11.0)	(0.7)	0.1
資金繰り逼迫	1.9	3.0	3.6	(2.4)	(4.6)	0.6
機械設備の老朽	14.3	10.5	16.8	(20.5)	(13.8)	6.3
環境公害問題	0.8	0.4	1.1	(0.8)	(1.3)	0.7
その他	0.4	0.4	0.7	(0.8)	(0.7)	0.3



- 今回の調査の全産業での当面の経営上の問題点をみると、①売上受注不振39.4%(前期比▲0.4ポイント)、②原材料高26.5%(前期比▲0.2ポイント)、③受注単価引下げ19.0%(前期比+5.1ポイント)の順になっている。
- 前期比では「受注単価引下げ」のポイントが増加した。また、「機械設備の老朽」を問題点とするポイントも、6.3ポイント増加している。
- 前期比ポイントが増加した「受注単価引下げ」を問題点とした業種は、「金属製品製造」「プラスチック製造」「アルミ製品製造」が高いポイントとなっている。「機械設備の老朽」は、「出版印刷紙加工」「窯業土石」のポイントが高い。

X. 為替変動に対する影響

項 目		見込					予測 (%)
		24年10~12月	25年1~3月	25年4~6月	25年7月~9月	25年10月~12月	
売上高	好 転	1.8	0.5	2.2	1.3	1.3	
	悪 化	5.3	5.6	3.6	3.6	2.3	
	影響なし	93.0	93.9	94.2	95.1	96.4	
仕入高	好 転	2.3	1.9	1.8	1.8	1.8	
	悪 化	5.0	1.0	17.3	16.8	17.3	
	影響なし	92.8	85.1	80.9	81.4	80.9	
営業利益	好 転	2.7	0.9	2.2	1.8	1.8	
	悪 化	6.7	9.3	13.5	12.6	12.1	
	影響なし	90.7	89.7	84.3	85.6	86.1	

- (1) 円高に対する影響について回答を求めているが、現在は、円安状態となっている。
見込、予測については、前期に比した予想について回答を求めた。今回225社からの回答があり、4~6月では、売上高については5.8%から影響があると回答があった。売上高が悪化したとの回答は3.6%で、前期比2.0ポイント減少した。
- (2) 仕入高については、19.1%が影響ありと回答。うち17.3%が悪化したと回答であった。好転したとの回答は、1.8%となり、前期より0.1ポイント減少した。営業利益では、15.7%が影響があり、うち13.5%が悪化したと回答している。今回調査では、悪化影響となった企業が大幅に増加となっている。
- (3) 先行きについても、売上高に対しては影響あるとのポイントはあまり変化がないが、仕入高に対しては、影響あり、とする企業が続く予想となっている。営業利益も悪化のポイントが高い予想となっている。